

== 編集後記 ==

「園芸文化」第3号をお届けします。大学は本年4月から新たに木村利人学長をお迎えしました。就任のご挨拶を兼ねて抱負の一端を書いていたのですが、恵泉の園芸には特別のご理解と「夢」をお持ちの方です。

新登場の池上さんは本学人文学部文化学科の新進助教授です。西洋美術史が専門ですから、今後もお登場をお願いするつもりです。短大から国際社会学科に移られた山崎さんは中国野菜の視察記を、同じく人間環境学科の片倉さんは、短大で永年継続してきたブルーベリーの土壌条件に関する研究をまとめて下さいました。

第2号に続き、二宮さんと野村さんに再登場をお願いしました。蓼科ガーデンの小沢さんには恵泉の園芸を担う側からの期待も含めて一文をお寄せいただきました。また、短大から学園史料室に移られた土屋さんの記事は、翻訳書の出版をめざして、本研究所が中心になって進めている勉強会の報告です。

恵泉園芸文化史もようやく3回目になりましたが皆さんそれぞれ頑張っています。助成研究は内容の幅が拡がりましたが、今後はテーマの方向づけもある程度必要になってくると思います。

最後になりましたが、本号をまとめる過程で、恵泉の園芸に関わりの深い大切なお二人の方を失いました。短期大学の園芸教育に長期にわたりご協力いただいた柳宗民先生と、大学の客員教授をお引き受けいただいていた安達瞳子先生です。紙面に追悼の一文を入れさせていただきましたが、改めてご冥福をお祈りいたします。 (箱田)